

3月 栽培管理 (2021)

アグリ技研 (株)

日	生育期	肥培管理
1日		①ウルル18号又はウルル2号⇒5kg ②カリっと⇒1kg又はPKゴー2000倍 (葉面) ③アミクエ5～10kg 連続収穫時期で土壌に酸素 (根域維持) とリン酸肥料を効かせて徒長を押さえながらの生育コントロール <<草勢も変化する時期です、徒長抑制と株疲れ対策>> 13日前後
2日		
3日		
4日		
5日		
6日		
7日		
8日	栄養生長期	①ウルル18号又はウルル2号⇒5kg ②カリっと⇒1kg又はPKゴー2000倍 (葉面) ③アミクエ5～10kg 連続収穫時期で土壌に酸素 (根域維持) とリン酸肥料を効かせて徒長を押さえながらの生育コントロール
9日		
10日		
11日		
12日		
13日		
14日		
15日		①コラーゲン・ラボ⇒5kg (葉面散布は500倍) ウルル2号・18号⇒5kg又はカリっと1kg ②アミクエ5～10kg ③カル元気5kg又は有機カルトップ500g 軟果対策に被覆資材や塗布剤の使用、炭酸ガスは中旬を目途に停止を判断する。加温機に連動されていない圃場では開閉後でも稼働は効果的です。 <<アミノ酸・チッソの追肥と発根材の連用>> 29日前後
16日		
17日		
18日		
19日		
20日		
21日		
22日		
23日		
24日		
25日	生殖成長期	①コラーゲン・ラボ⇒5kg (葉面散布は500倍) ウルル2号・18号⇒5kg又はカリっと1kg ②アミクエ5～10kg ③カル元気5kg又は有機カルトップ500g
26日		
27日		
28日		
29日		
30日		
31日		
ポイント	今月は、地上部の生育も旺盛となり、炭酸ガスや電照などの調整時期となります。気象的にも暖冬傾向で推移すると予測されますので遮光対策も合わせて必要になると思われます。肥培管理では地上部を押さえながら玉肥大や根域充実、硬果対策を図りましょう。	